



# ぼらんていあ通信

10月号  
通巻 No. 515

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年10月22日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: [sagamiva@feel.ocn.ne.jp](mailto:sagamiva@feel.ocn.ne.jp) HPアドレス: <https://sagamiva.info>

当協会の傾聴ボランティア、HC 運転ボランティアの方々には、特に活動の参考になる講座です！

再度のPR

ぼら通先月号にチラシを同封させていただきましたが、11月の講座は、高齢化に伴い誰もが会おうであろう認知症とともに歩むための大切なことや、認知症にかかっても地域で暮らし続けていくためのヒントを得られる講座です。



## 住みやすい街づくりのためのボランティア養成講座

～認知症にかかっても地域で暮らし続けていくために～

日時：2024年11月19日(火)・30日(土) 午後2時～4時(全2回)

内容：◆11月19日(火) 午後2時 会場：あじさい会館6階 第1・2展示室

・講師：高島浩子氏(回想法プランニング代表) ・主な内容：回想法を学ぶ

◆11月30日(土) 午後2時 会場：あじさい会館6階 第1・2展示室

・講師：横山地域包括支援センターの皆様

・主な内容：地域包括支援センターの役割と認知症予防・認知症の方への接し方を学ぶ

\*資料代：全2回で1,000円

\*申込み：FAX、メール、はがきなどで郵便番号、住所、氏名、電話番号(できれば携帯番号も)、FAX 番号を記入して申し込んでください。

協会の住所等は、このページの上段に掲載しています。

おまちしています



(申し込み用QRコード)

## ハンディキャブ号入れ替え式開催報告

会長 加藤 修

10月13日(日)の13時よりけやき会館横富士見駐車場にて、ハンディキャブ号の入れ替え式を開催しました。

当日は快晴の中、まず始めに加藤ハンディキャブ委員会委員長と小野事務局委員会委員長よりハンディキャブ11号車へのお別れの挨拶を行い、その後事務局委員会メンバーにて作成したお花と「ありがとう」のパネルを11号車に設置し記念撮影をしました。



11号車、今までありがとう！



新車両13号車と一緒に初ショット！

ディーラーへ車両の入れ替えを行っての間、けやき会館にて新車両の操作方法を資料にて説明を受け、新車両である13号車到着後運転ボランティアが車いす垂降操作の実習を行いました。事前に資料で説明を受けているとはいえ、実際に操作すると思い通りに動かないこともありましたが、何回か試すうちに操作に慣れてきました。最後に13号車との記念撮影を実施し解散となりました。

今回の車両購入は、先日世界された事務局委員会メンバーの遺志による寄付により購入させて頂きました。改めて遺志に厚く御礼申し上げます。

運転ボランティアの皆様には、「安全運転」第一で運行いただきますようお願いいたします。

# ほかほかふれあいフェスタ2024

健康フェスタと同時開催

お天気にも恵まれ盛大に！

あじさい会館ホール/館内・ウェルネスさがみほら前広場にて

## あじさい会館ホール編

10月12日(土)は久しぶりの好天に恵まれ一日フェスタを楽しむことができました。

あじさい会館ホールでは、午前10時から開会セレモニーが開かれた。先ず鈴木実行委員長が「本日は健康フェスタとの合同で実施しますが、」来場の皆様、あじさい会館を始め各会場を回られ楽しんでいただきたいと思います。と挨拶があった。

来賓の米山相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部長、古内市議会議員、小林相模原市社会福祉協議会常務理事のご挨拶、続いて他の来賓の方々とスタッフの紹介があり、途中、相模原市と食育推進マスコットキャラクター「さがみ」と「まがひ」が登場し、最後に加藤副実行委員長(ホラ協会長)の締めよりのセレモニーは終了した。

引きつづき、ホールの部の演技に入った。(1)スピッツエンパフォーマンス(写真①)このグループは、チャレンジドチアという障がいの有無や種類、重症度を問わず誰でも参加できるチアリーディングチームです。年齢も性別も性格も違うメンバーですが、見ている人

に



元気で笑顔を輝けるパフォーマンスをします。

(2) 松が丘園(よむい・ソラン)

メンバーは松が丘園の自立訓練事業に通う利用者です。メンバーは自立生活を送ったり、就職するために必要な訓練やプログラムを行っています。(写真②)

(3) 日本手話ダンスクラブ所属「花言葉」聞こえなくても活動できることを考え、手話サークルを創り今年で25年になり、聞こえる方達と一緒に楽しんでいます。(写真③)

(4) S.N.D.F.(ヒップホップダンス) ヒップホップダンス、ジャズダンス、ブレイクダンスなど幅広く楽しんでいます。(写真④)

(5) コールジェネシス(コーラス) コールジェネシスは相模原市視覚障害者協会に属するコーラスグループです。会員は視覚障がい者8名、賛助会員7名です。練習はげやき会館で月1回、佐藤先生の指導で楽しんでおこなっています。視覚障がい者は楽譜を読むことができないうがリーダーを各自持参し録音して、自宅で繰り返し練習し曲も歌詞も記憶しているそうです。(写真⑤)

※どのグループも素晴らしい演技で観客もだんだん増えてきて大盛況でした。(高橋)

## あじさい会館内編

1階ロビーでは今年も中央支援学校の生徒さんの優しい色合いの絵画作品、拡大写本赤十字奉仕団の活動紹介がパネル展示されており、スタンブラリーの受付では若者サポートステーションのポフンティアが、次々と訪れる来館者に熱心に対応。

6階、視覚障害者協会の無料マッサージは順番待ち。休憩中の協会スタッフの姿も。点字の体験コーナーでは、わかりやすく丁寧な指導で素敵なカードに自分の名刺を作ることができた。

その隣では「マッパス」というゲームのブース。障がい者や高齢者だけでなく誰もが楽しめるルールでなかなか頭も使う。今後広がっていくようなゲームだ。

プラススポーツ体験のブースでは、「チェアスキー」狭い椅子に座り両手にはがっちりとした支えのストック。筆者も挑戦したが、バランスも操作も難しく、スクリーンのコースの中では旗門や雪の壁にことごとく激突。パラリンピックの選手の技術の凄さに思い至った。神奈川リハビリテーション病院では、こうしたスポーツをリハビリに活用しているようだ。(杉崎)



中央支援学校生の作品



ウェルネスさがみはら前広場編

まるでホスターのように澄み渡った青空の下、中央にステージを配置したウェルネスさがみはら前広場では、周りに19張りのテントがずらりと並び、鈴木実行委員長の挨拶で広場イベントがスタートした。

参加団体、パネル展示や相談コーナー、美味しそうな匂いが漂う焼きそばや混ぜ麺、焼きたてパン販売などの模擬店。また、「釣れたー」「やった、入ったー」という声とともに楽しそうなお笑い声が響き渡るテントの下では、魚釣りやけん玉にチャレンジする笑顔の子も連々賑わっていた。

ステージでは、バンド演奏や車椅子ダンスなどのパフォーマンスに大きな拍手が上がり、また最後のステージでは、障がいのある人もない人も、出演者と来場者が一緒によさこいを踊り、ほかにフェスタを盛り上げてくれた。

ボランティア協会も玉こんにゃくとウインナー販売、子ども向けにガチャガチャなどでブースに参加し、来場者との会話を楽しんでいて、「美味しいー」と言ってくたさるお客さんの言葉にスタッフは本当にうれしそうだった。

(恒藤)



感想コーナー

会館ロビーに、ほかに感想コーナーを設置したが、いただいた感想は3件だった。

でも、書いてくださった方々ありがとうございます。

★あじさい会館の福祉体験がめっちゃおもしろかった！

知らないことを知れて楽しかった。

★今年も知らないことを知れて楽しかった！ 感謝🎵です。

★本日は晴天なり、毎年ご苦労様です。アリガトウゴザイマス

ありがとうございました！

当日は高校生を始め、たくさんのボランティアさんにお手伝いいただきました。

写真班は、さがみはら若者サポートステーションの皆さんで、一日中、会場を回ってシャッターを押していらっしやいました。

皆さん、本当にありがとうございました。

ほかにほかにあいフェスタ実行委員より

第12回「ワンシマルシエ」

開催報告

まつもと 松原 俊

令和6年9月28日(土) 10時から15時に、相模大野の商業施設連絡通路にある南区地域福祉交流ラウンジの活動室内とラウンジ前の通路で、「第12回ワンシマルシエ」が開催されました。今回は「大野南ふるさとまつり」と同日開催になりました。

会場では、ラウンジマルシエ、リークシヨップ、福祉体験、他にも外国の方の日本語スピーチ、脳トレゲーム、認知症判定、スタンパラー、福祉機器の展示などもりだくさんで、ボランティア協会は「車いす体験・パネルの展示・動画放映」を担当し、ハンディキャブの小川進さんと傾聴仲間の水戸守敏男さんに協力をお願いし活動しました。今回は、前回の寒さ、強風とは大違いで、天候に恵まれ、風もなく大変穏やかで、大勢の方が見えました。

車いす体験は、ホワイトボードに提示した利用者の心構え、車いすの構造説明、操作方法、安全確認方法を見てから体験してもらう予定でしたが、開催後から体験希望者が殺到し、それどころではなくなりました。



左から松原さん、水戸守さん、小川さん



今回の体験者は、何と、100組越え約250名以上で、1組が終わり戻ると順番待ちの状態で、我々は休む間もなく汗だくの対応となり、途中からは「きよの会」の方が協力してくれました。ちなみに今回は、20組弱で高齢の方が多かったです。今回の体験者は若い世代の家族連れが多く、親子で交代し体験してくれ、子供たちは遊具といらして自走を希望する子が多く楽しそうに言ってくれました。親御さんは体力がないとスロープの登り、下りが大変であることを実感したようです。車いすを介添え、補助する場合は、信頼関係が大事です。利用者に対して、気遣い、声掛けをし、「進みます」「上ります」「下ります」「曲がります」など、よくよくお願いします。次回も皆様の参加・協力をお待ちしています。

理事会報告

10月19日(土) 理事会(理事の名出席)



◆報告・重要事項

- ・ハンディキャブ13号車が10月13日に納車された。
- ・ハンディキャブ用カバンの受け渡しはあじさい会館でできる方向となった。詳細を詰める。
- ・ハンディキャブ運行に関わる緊急時連絡カードについて検討している。
- ・11月の協会主催講座の募集が始まった。実施体制の詳細を検討した。
- ・ほかほかふれあいフェスタで久しぶりに模擬店に参加した。
- ・来年度の理事選出に向けて、役員選出管理委員会メンバーが決まり、活動が始まる。

会員の皆様、いるかバンクボランティアの皆様、その他多くの市民の皆様のご協力でほかほかふれあいフェスタ2024を実施することができました。理事会として感謝申し上げます。

次回理事会11月9日(土) 11時より

相模原ボランティア協会 11月の予定

日	時間	内容
9(土)	10:00~	協会の在り方検討会議
	11:00~	定例理事会
13(水)	10:00~	映像企画実行委員会
	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
16(土)	13:00~	ハンディキャブ・事務局合同委員会
19(火)	14:00~	養成講座①
26(火)	10:30~	ぼら通11月号印刷
	13:30~	ぼら通11月号発行
30(土)	14:00~	養成講座②
	12:00~	障害者週間キャンペーン

お知らせ

障害者週間キャンペーン開催

11月30日(土) 12:00~15:00  
相模大野駅北口サンデッキでイベントを開催します！ 障害者週間についての展示や資料を配布してキャンペーン活動を行います。ステージでのパフォーマンスや木工品などの販売もありますのでお楽しみに♪



情報

さがみはら若者サポートステーション  
15周年記念フォーラム

さがみはらのミライをつきたい

—若者と地域がともに支え合うまちづくりを目指して—  
2024年11月20日(水) 14:00~16:00  
定員: 80名 参加費: 無料

橋本商店街協同組合の方を中心にお招きして、商店街や企業の中で若者を受け入れる意義や役割、想いを聴くとともに、さがみはらサポステの利用を経て、地域の中で活動する若者にも地域とともに生きていくこと等について語りあうフォーラムです。

\*さがみはら若者サポートステーションについては、サポステのHPをごらんください。

URL: <https://parasute.jp/>

ホームページのQR



11月の記念日は?

小倉義男

11月5日は、ごまの日です。

全国胡麻加工組合が制定。油分、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維などが豊富で、栄養価が高く、健康に良いごまをより多く摂取してもらうのが目的。日付は11と5で「いい(11)ご(5)ま」



小倉画

と読む語呂合わせと、ごま和えなどごまとの相性の良いほうれんそうの旬の旬の始まりの時期であることから。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

※ただし、摂り過ぎは控えましょう。



ボランティア活動グループ訪問記



ふちのべ学習教室 さがみはら国際交流フロンティア活動グループが通るまで届いています。中では教育支援部担当の角田憲司さんが打ち合わせの最中でした。この日は月・火・水の午後の時から「ふちのべ学習教室」が開かれています。外国につながる子どもも達が来室し、ボランティアの方たちがそれぞれ応じた学習支援をしているのです。角田さんは入室を希望する子どもたちを受け入れ、学習支援者たちがマッチングをし、教室全体の運営に当たっています。

中国、韓国、フィリピン、バングラディッシュ、ネパール、アメリカ、メキシコなど世界中の国々から、本人や親が日本へ来た子たちです。日本で生まれるなど日本語を十分話せる子もいますが、全く話せない、読めない、書けない子も多くいます。学校の学習や高校等の進学の悩みや支障があり、市の相談窓口や学校の先生などから紹介されたりして来室します。小学生、中学生、16歳以上合わせて毎年20〜30人が登録します。



角田さん(左)と間瀬さん

中国、韓国、フィリピン、バングラディッシュ、ネパール、アメリカ、メキシコなど世界中の国々から、本人や親が日本へ来た子たちです。日本で生まれるなど日本語を十分話せる子もいますが、全く話せない、読めない、書けない子も多くいます。学校の学習や高校等の進学の悩みや支障があり、市の相談窓口や学校の先生などから紹介されたりして来室します。小学生、中学生、16歳以上合わせて毎年20〜30人が登録します。

＊このように学習をしていなくても大丈夫。

ひろがな、カタカナの読み書きから学校の宿題、高校受験対策のための数学や英語に力を入れたり、漢字練習をしたりと学習するようをほめてあげ、一人ひとりに応じた課題に取り組みしています。週3回来る子どももいれば、週1回の子もいます。マンツーマンに近い形で学習支援者が担当でサポートしています。

＊学習支援のボランティアの方々に教えていただく。

大人の支援者に加え、大学生、高校生のボランティアが学習支援に当たっています。また、近隣の会社の方も支援に入っています。大学生は大学のゼミ関連で来室、短期でもたくさんの方が得られ助かります。学習支援は大人と学生で組み、適切な子どもを支援できるような体制を取っています。学生には「仲良く話し相手になることも大事」と伝えています。徐々に支援者は増えていますがまだまだ少ないと感じます。



＊＊ お話を伺っている間も、今日から入室というパールの子を案内したり、親からの入室の相談の電話が入ったりと角田さんは大忙しです。学習中の教室の様子を見せていただきましたが子どもたちはそれぞれ支援の方たちと和やかながらも集中して課題に取り組んでいました。

先ほど来たネパールの子ももつつかりな感じで机に向かっています。

「教室のきまり」も決められて掲示され、落ち着いた雰囲気を守られています。



教室のきまり

中国につながるがめんどいという中学生一年生のお二人は、日本生まれで仲良し。いろいろな支援の先生に会い、それぞれの得意なことが学べる。将来は自分たちも子どもたちに教えるようになり、恩返しをしたいと笑顔で口々に語ってくれました。

また、学習支援者の野口勝通さんは、定年後ボランティアに。高校に受かった子たちがお礼を言いに来るのが嬉しく、今年も支援を頑張ろうという原動力になっている。高橋受験も合格して終わりでなく、高校と連絡を取り合っていてその後進路など見守ってあげられるそうです。「子どもの数だけ人生がある」という学習支援者の間瀬民子さんの言葉は大変印象的でした。

市内には外国人の方も多くボランティア団体による子どもたちのための学習教室や日本語の教室がいくつもあり、どこも熱意のある方の活動で成り立っています。

少しでも関心のある方は支援者として活動してみたいかがでしょうか。(杉崎)

＊ふちのべ学習教室

さがみはら国際交流ラウンジ 教育支援部  
〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台 1-9-15  
電話：042-750-4150  
角田憲司(問い合わせ080-8914-4960)



# ボランティアさん募集！

## ① フードバンク活動のお手伝い ～「もったいない」を「ありがとう」へ～

依頼者： NPO 法人フードコミュニティ（中央区田名 等）  
 内容： 子育て家庭向け食材配布イベントのサポート  
 日時： 毎月第4日曜日 午前9時～午後5時  
 その他： 駐車場あり・交通費支給あり



## ② 主に知的・精神に障がいのある方の日課活動のお手伝い

依頼者： 障がい者支援施設（中央区星が丘）  
 内容： 利用者の軽作業のフォロー、外出付添い、体操・工作・ゲームのお相手 等  
 日時： 月～金曜日 午後1時～4時のうち、都合の良い曜日・時間（週または隔週1回程度）  
 持ち物： マスク・派手でない動きやすい服装（ジーンズ・腕時計・アクセサリーは不可）  
 その他： 駐車場なし、駐輪場あり



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所： 電話 042 (759) 7982  
 相模原市社協 中央ボランティアセンター： 電話 042 (786) 6181  
 FAX 042 (786) 6182  
 メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《9月のイラスト  
心を落ち着かせるひととき》

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<9月の寄付者>

3名の方からご寄付をいただきました。

<9月の寄付金>

総額 14,000 円でした。

ありがとう

寄付者は税制面での優遇措置が!!

寄付金控除制度の活用を

ボランティア協会では、来年度も、さまざまな事業を展開していくつもりですが、そのためには資金が必要です。

12月までに寄付をしていただくことで今年分の確定申告に間に合います。

詳細は、当協会にお問合ください。

※認定NPO法人

相模原ボランティア協会

電話 042・759・7982

会員の皆様には、ゆづり銀行の払込取扱票(手数料協会負担 ※但し、現金でお払込みの場合は別途手数料百十円がかかります)を同封しましたので、ご利用ください。  
よろしくお願いたします。



### 編集後記

先日、面白い体験をした。  
 駅からバスに乗ったところ、直進しなければいけない交差点で、なぜかバスは左折してしまっただ。乗客が気づき「あれ、道が違っ」という声。「あ間違えた」と大慌ての運転手さん。

急いで会社に連絡し、その後ちょっと道を大回りして無事に元のコースに。乗客も少なかつたし短いコースだったためか、車内には『運転者さんいつもご苦労様』という雰囲気がいー  
 あ、運賃は無料でした。(恒)